

第6回矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等検討委員会 議事要旨

1. 開催日時：平成24年2月23日(木) 13:30～15:20

2. 開催場所：北海道防衛局 会議室

3. 出席者

【委員長】

新谷 融 (NPO法人環境防災総合政策研究機構北海道支部 支部長)

【委員長代理】

黒木 幹男 (財団法人河川環境管理財団北海道研究所 研究顧問)

【委員】

小川 巖 (酪農学園大学環境システム学部 教授)

川村 洋司 (北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場 研究職員)

立澤 静夫 (別海漁業協同組合 専務理事)

眞山 紘 (北海道栽培漁業振興公社 技術顧問)

丸谷 知己 (北海道大学大学院農学研究院 教授)

渡邊 昇 (別海町郷土史研究会 会長)

【事務局】

北海道防衛局

別海町

4. 議事要旨

前回までの委員会を踏まえ、玉川1号ダム及び楓沢2号ダムのスリット化に伴うダムの上下流における環境への影響評価、風蓮川水系における流域環境モニタリングの結果、土砂生産源対策工のあり方並びに玉川、楓沢以外のダムの今後の対策方針について、以下のような議論が行われた。

- ・ 流域環境への影響については、スリット化によりイトウなど魚類の生息環境に一定の効果が発揮されていると評価できるが、引き続き、土砂の流出状況及びイトウの生息状況に関するモニタリングが必要である。
- ・ 風蓮川水系の流域環境モニタリングについては、熊川及び三郎川など各支流から風蓮川本流への流入状況についてモニタリングが必要である。
- ・ 土砂生産源対策工は、第5回検討委員会の指摘を踏まえて早急に対策を要する箇所を除き、風蓮川全流域について土砂生産源の状況を把握し、現地の状況に応じた対策を講ずるべきであることから、今後も引き続き検討する。
- ・ 玉川及び楓沢以外のダムについては、風蓮川全流域の土砂生産源の状況及び流域環境モニタリング結果を踏まえて対策方針を検討する。